

# 中学公民プリント（過去問類似）

## 選挙と政党

名前

得点

/8

**問1** 日本の選挙制度のうち、各政党の得票数に応じて議席を割り当てる「比例代表制」について、参議院議員選挙における実施方法として正しいものはどれですか。（2020年 山形公立入試 類似）

1. 全国を一つの単位として実施され、有権者は政党名または候補者名のいずれかを書いて投票する
2. 全国を11のブロックに分けて実施され、有権者は政党名のみを書いて投票する
3. 都道府県ごとに設置された選挙区ごとに実施され、最も得票の多い政党が全ての議席を独占する
4. 人口に比例して配分された小選挙区ごとに実施され、政党が作成した名簿の順位に従って当選者が決まる

**問2** 「一票の格差」が生じる仕組みと、その解決のための取り組みについて説明した文として、適切なものはどれか選びなさい。

（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 都市部への人口集中により、地方の選挙区の一票の価値が都市部より相対的に低くなっている。
2. 一票の格差を解消するため、人口の変化に合わせて各選挙区の議員定数を増減させる調整が行われる。
3. 最高裁判所が選挙を「違憲（憲法違反）」と判断した場合、その選挙の結果は直ちにすべて無効となる。
4. 衆議院の小選挙区制において、死票を減らすことが一票の格差を是正する直接の目的である。

**問3** 日本の衆議院議員選挙などで採用されている、一つの選挙区から一人の当選者を選ぶ小選挙区制において、当選した候補者以外の落選者に投じられた票は、議席に結びつかないため何と呼ばれますか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 死票
2. 比例代表票
3. 有効投票
4. 棄権票

**問4** 衆議院議員総選挙などで採用されている小選挙区制の長所と短所について説明した記述として、最も適切なものはどれか選びなさい。（2025年 秋田公立入試 類似）

1. 二大政党制になりやすく政権が安定しやすい反面、当選者以外に投じられた「死票」が多くなる。
2. 少数派の意見を議会に反映させやすい反面、小政党が乱立して政権が不安定になりやすい。
3. 一つの選挙区から複数の当選者を出すため、政党に関わらず個人の知名度で当選が決まりやすい。
4. 候補者名ではなく政党名で投票するため、政党の政策に基づいた選択ができるが、特定の個人を選べない。

**問5** 日本の国政選挙で導入されている比例代表制は、各政党の総得票数に応じて議席を配分する仕組みですが、この制度を採用する主な目的として最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 死票を減らし、少数意見を議席に反映させやすくするため
2. 特定の政党が安定した多数派を形成しやすくするため
3. 候補者個人の知名度や人柄を優先で選べるようにするため
4. 選挙区を細かく分けることで、地域密着型の政治を実現するため

**問6** 参議院議員選挙の実施方法について述べた記述として、正しいものはどれか。なお、参議院議員は任期が6年であり、3年ごとに定数の半数が改選される。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 比例代表制においては、全国を一つの単位として議席の配分が行われる。
2. 比例代表制においては、全国を11のブロックに分けてそれぞれの地域ごとに議席の配分が行われる。
3. すべての議席について、都道府県を単位とした選挙区制によって選出される。
4. 小選挙区制と比例代表制を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」が採用されている。

**問7** 2014年12月の統計に基づくと、有権者数が最も少ない鳥取県第1区と、最も有権者数が多い選挙区を比較した場合、その「一票の価値」の差は最大で約何倍に達していましたか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 約1.2倍
2. 約2.1倍
3. 約2.9倍
4. 約3.4倍

**問8** 衆議院議員選挙で行われている小選挙区制について、その性質と政治に与える影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 高知公立入試 類似）

1. 一つの選挙区から一人の当選者を選ぶため、大政党に有利に働き、政権交代可能な二大政党制になりやすい。
2. 得票数に応じて各政党へ議席を配分するため、少数派の意見が国政に反映されやすく、多党化が進みやすい。
3. 一人の有権者が「候補者名」と「政党名」のどちらも記入でき、死票を最小限に抑えることができる。
4. 一つの選挙区から複数の代表を選出するため、同じ政党から複数の候補者が立候補し、党内派閥の争いが激化しやすい。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 全国を一つの単位として実施され、有権者は政党名または候補者名のいずれかを書いて投票する	参議院議員選挙の比例代表制は、衆議院のように全国をブロックに分けるのではなく、日本全国を一つの単位として行われます。また、有権者が「政党名」だけでなく「候補者名」を書いて投票できる点も特徴です。各政党の獲得議席数は、その政党名での得票と、その政党に属する候補者個人の出票を合計した数に基づいて、ドント式という計算方法で割り振られます。
問2	<b>答え 2</b> 一票の格差を解消するため、人口の変化に合わせて各選挙区の議員定数を増減させる調整が行われる。	人口の少ない地方の選挙区では、1人の議員を選ぶのに必要な票数が少なく済むため、都市部に比べて一票の価値が「高く」なっています。この不平等を是正するために、議員定数の配分を見直す「定数是正」が行われます。最高裁判所が選挙を違憲と判断しても、混乱を避けるために直ちに選挙を無効とせず、是正を求めるにとどめる「事情判決」という手法が取られることが一般的です。また、死票の削減は主に選挙制度（小選挙区制か比例代表制かなど）の議論であり、一票の格差の是正とは別の視点です。
問3	<b>答え 1</b> 死票	小選挙区制は、最も多くの票を得た一名のみが当選する仕組みであるため、落選した他の候補者に投じられた票はすべて議席の獲得に反映されません。このように、選挙結果に反映されなかった票を死票といいます。死票が多い制度では、少数の意見が政治に反映されにくいという課題が生じます。
問4	<b>答え 1</b> 二大政党制になりやすく政権が安定しやすい反面、当選者以外に投じられた「死票」が多くなる。	小選挙区制は、得票数1位の候補者のみが当選するため、大きな政党が有利になりやすく、結果として二大政党制を促して政権の安定につながります。しかし、当選者以外に投じられた票はすべて「死票」となり、議席に反映されないため、得票率と議席占有率に乖離が生じやすいという課題があります。
問5	<b>答え 1</b> 死票を減らし、少数意見を議席に反映させやすくするため	比例代表制は、小選挙区制に比べて当選に結びつかない「死票」が少なくなる特徴があります。政党の得票率に応じて議席を分担するため、小規模な政党であっても議席を獲得できる可能性が高まり、結果として議会に多様な国民の意見（少数意見）を届けることができます。
問6	<b>答え 1</b> 比例代表制においては、全国を一つの単位として議席の配分が行われる。	参議院議員選挙の比例代表制は、衆議院のような地域ブロック単位ではなく、全国を一単位として行われます。有権者は政党名または候補者名のいずれかを書いて投票し、各政党の総得票数（政党名と候補者名の合計）に応じて議席が配分されます。また、3年ごとに半数が改選されることで、政治の継続性と民意の反映のバランスが図られています。
問7	<b>答え 2</b> 約2.1倍	2014年の総選挙における格差の最大値は約2.1倍でした。この格差を縮小するために、国会では定数を削減したり、区割りを細かく調整したりする議論が続けられています。特に「2倍」を超える格差は、民主主義における平等の原則から見て大きな問題であると指摘されており、司法からも速やかな是正が求められる目安の一つとなっています。
問8	<b>答え 1</b> 一つの選挙区から一人の当選者を選ぶため、大政党に有利に働き、政権交代可能な二大政党制になりやすい。	小選挙区制は、一つの選挙区から一人の代表を選ぶ制度であるため、得票が集中しやすい有力政党の候補者が有利になり、結果として二つの大きな政党が競い合う政治状況を生み出す傾向があります。これに対し、得票数に応じて議席を配分し少数派の意見を反映しやすくするのは比例代表制の特徴です。日本の衆議院では、これら二つの制度を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」が採用されています。